



2020年5月8日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 晃二
 (コード番号 5476 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理部長 村越 久人
 (TEL. 03-5687-6025)
 当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
 代表者名 代表取締役社長 山口 貢
 (コード番号 5406)

2020年3月期連結業績予想数値と実績値との差異、並びに 個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

2020年2月4日に公表しました2020年3月期連結業績予想数値と本日公表の実績値と比較して、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日公表の2020年3月期の個別業績において、前期実績値との差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

記

(1) 2020年3月期連結業績予想数値と実績値との差異

【2019年4月1日～2020年3月31日】

(単位：百万円)

	売上高	営業損失 (△)	経常利益又は 経常損失 (△)	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純損失 (△)
前回発表予想 (A)	37,300	△ 100	△ 30	△ 130	△ 8.87
実績値 (B)	37,287	△ 5	62	△ 49	△ 3.36
増減額 (B-A)	△ 12	94	92	80	—
増減率 (%)	△0.0%	—	—	—	—
(参考) 前年同期実績 (2019年3月期)	41,317	748	846	244	16.67

(2) 2020年3月期個別業績実績値と前期実績値との差異

【2019年4月1日～2020年3月31日】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失 (△)	経常利益	当期純利益又は 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純利益 又は当期純損失 (△)
前期実績 (A)	25,920	48	269	△ 84	△ 5.75
当期実績 (B)	24,327	△ 266	180	245	16.76
増減額 (B-A)	△ 1,592	△ 315	△ 89	329	—
増減率 (%)	△6.1%	—	△33.2%	—	—

(3) 差異が生じた理由

① 連結業績予想値と実績値との差異

当社グループでは、当連結会計年度末より棚卸資産の一部の貯蔵品の会計処理方法を変更し※、

営業利益及び経常利益が11億6百万円増加しました。2020年2月4日の公表の連結業績予想数値の営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益の実績値との差異は、主に上記会計処理方法の変更による影響金額が増加したものであります。

※注：会計方針の変更の詳細につきましては、本日発表の決算短信をご参照ください。

② 個別業績実績値と前期実績値との差異

売上高は、販売価格改善の取組みの一方、経済減速に伴う需要減の影響を受け、前期に比べ約16億円減少しました。営業利益および経常利益は、販売価格の改善や前述の会計処理方法の変更に伴う増益要因はあったものの、売上数量減の影響が大きく、また原燃料・副資材等のコストの上昇等の減益要因も加わり3億1千5百万円の減益となりました。当期純利益については、設備投資等に伴う特別損失が大きく減少したことから3億2千9百万円の増益となりました。

以上